

出 発



新たな生活が始まる季節です。入学、就職はもちろんですが、心機一転、新しいことに挑戦する人など様々です。今回は、「出発」をテーマにいろいろな視点から本をご紹介します。

『好奇心ガール、いま 97 歳』 笹本恒子/著 小学館 請求記号：740

26 歳で初の女性報道写真家になり、小休止のあと、71 歳で再出発をした作者のエッセイです。出発というと若者の言葉だと思いがちですが、そんなことはない。いくつになっても魅力的な人生を始められるのだと思わせてくれます。



『定年がやってくる～妻の本音と天の心得～』 青木るえか/著 筑摩書房 請求記号：367.3

“定年”というのも新しい出発の節目ですね。夫婦として、また個人として、それまでとはライフスタイルが変化していく中でこの「出発」をどのように考えるか。老後を楽しく迎えるために、こんな本はいかがでしょうか？

4月30日は 図書館記念日

昭和 25 年 4 月 30 日、画期的な文化立法である図書館法が公布され、それを契機として日本の図書館活動は新しく生まれ変わりました。

「日本図書館協会 HP」より抜粋

『著作権のことならこの 1 冊』 神田将/監修 自由国民社 請求記号：021.2

『図書館 この素晴らしき世界』 藤野幸雄/著 勉誠出版 請求記号：010



第1回

おすすめ本は何ですか？

森の図書館では、多彩なイベントを日々開催しています。

第1回は、3月6日(日)の落語会で楽しい落語を語ってくれましたお二人におすすめ本を伺いました。

円楽一門会所属 二つ目 三遊亭鯛好さん 『成り上がり』 矢沢永吉/著 角川書店

落語芸術協会所属 前座 春風亭かん橋さん 『プチ哲学』 佐藤雅彦/著 中公文庫

ロックグループ「ローリングストーンズ」の待ちをするほど大のロック好きの鯛好さん！

図書館をもっと知ろう！ 便利なサービス

あれ

これ



第2回 禁帯出本ってなに？

禁帯出本とは、図書館で通常の貸出ができない資料です。利用者がすぐに使えるように、常に図書館に保管しておく必要があるためです。主に辞典・辞書などの参考図書や、郷土・行政に関する本があります。禁帯出本は原則、図書館内での閲覧となります。他館に所蔵している禁帯出本は、近くの図書館に取り寄せて館内で閲覧することもできます。詳しくは、図書館スタッフまでご相談ください。